

新居浜市都市再生整備計画評価委員会 議事録

日 時：平成 23 年 11 月 10 日（木）

13：30～ 現地視察

14：30～ 評価委員会

場 所：新居浜市役所 5 階大会議室

【次第】

1. 開会
2. 委員紹介
3. 委員長の選出
4. 概要説明
 - (1) 事後評価制度の概要説明
 - (2) 新居浜駅周辺地区における都市再生整備計画の経過説明
5. 議事
 - (1) 事後評価手続き等にかかる審議について
 - (2) 今後のまちづくり方策にかかる審議について
6. 評価委員会後のスケジュールについて
7. 閉会

【出席者】

(評価委員会委員)

愛媛大学（愛媛県建設技術支援センター） 名誉教授…………… 柏谷増男
新居浜駅前地区まちづくり協議会 会長…………… 加藤勝見
駅前自治会 会長 …………… 小野偉章
金子校区運営審議会、金子校区連合自治会 会長…………… 山下康博
国領川河川敷利用者協議会 副会長…………… 市位 篤

(事務局)

新居浜市：(企画部) 部長 田中洋次

(企画部総合政策課) 課長 原一之、副課長 河端晋治、主任 相坂祐介

(建設部都市計画課) 係長 玉井和彦

(建設部区画整理課) 副課長 神野幸彦、主任 高橋潤子

(株) 建設技術研究所：眞鍋靖司、逸見将志

【会議資料】

新居浜市都市再生整備計画評価委員会次第

資料 1：新居浜市都市再生整備計画評価委員会設置要綱

資料 2：新居浜市都市再生整備計画評価委員会名簿

資料 3：都市再生整備計画（第 3 回変更）新居浜駅周辺地区

資料 4：都市再生整備計画 事後評価方法書 新居浜駅周辺地区

資料 5：新居浜市における都市再生整備計画事業について

資料 6：都市再生整備計画 事後評価シート 新居浜駅周辺地区

資料 7：評価委員会後のスケジュールについて

【議事】

1. 開会

事務局：委員の皆様には、お手元に委嘱状を配布させて頂いた。これより、新居浜市都市再生整備計画評価委員会を開催させて頂く。開会に当たり、新居浜市企画部の田中より、挨拶をさせて頂きたい。

企画部長：新居浜市では、平成 20 年度から平成 23 年度にかけて新居浜駅周辺地区において、都市再生整備計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用した総合的なまちづくりに取り組んできた。本年度は最終年度であり、国の事後評価実施要領に基づき事後評価を行ってきた。本日の会議はこの事後評価が適正に行われたかどうかについて、また今後のまちづくり方策について十分な審議をして頂き、その結果を反映していきたいのでよろしくお願ひしたい。

2. 委員紹介

事務局：本日ご出席の委員皆様の紹介をさせて頂く。

：(出席委員及び事務局を紹介)

：審議に入る前に審議内容の公開について報告させて頂く。本日の案件については、委員会の公正かつ円滑な審議に支障が生じるものではないこと、また個人情報等に関わる内容が含まれていないため、新居浜市審議会等の公開に関する要綱により、公開としている。

3. 委員長の選出

事務局：委員長の選出について、資料 1 の「新居浜市都市再生整備計画評価委員会設置要綱」第 4 条に基づき、本委員会の委員長は委員の互選により選出すると定められている。どなたかご推薦があればお願ひしたい。

委員：事務局で案があれば。

事務局：それでは新居浜市の都市計画にも携わって頂いており、都市計画に造詣の深い、柏谷委員にお願いしたいがいかがか。

委員：異議なし。

事務局：それでは、柏谷委員に委員長をお願いしたい。

：資料1の新居浜市都市再生整備計画評価委員会設置要綱第5条第2項に基づき、議事の進行についてお願いしたい。

委員長：私は新居浜市の市民ではないため、本日の評価については、委員の皆様のご意見を尊重し、進めていきたいのでよろしくをお願いしたい。この委員会では、市が実施した都市再生整備計画事業の評価として、評価が適正に行われているかどうかを判断して頂きたいが、我々委員がその事業内容全てを評価する訳ではなく、この場で色々な意見を出してそれを市に持ち帰ってもらい、現在の事後評価案にその意見を反映して、12月に国に提出する事後評価シートを作成して頂くという運びになっている。また、事後評価の審議に留まらず、今後のまちづくりについても積極的にアイデア・意見を出してもらえればと思う。

4. 概要説明

(1) 事後評価制度の概要説明

(事務局より事後評価制度の概要説明)

(2) 新居浜市駅周辺地区における都市再生整備計画の経過説明

(事務局より新居浜市駅周辺地区における都市再生整備計画について説明)

5. 議事

(1) 事後評価手続き等にかかる審議について

(事務局より事後評価手続き等について説明)

委員長：具体的なこととして4つの指標を挙げている。これらの目標達成について、△が3つと○が1つとのことであり、△については補完的な指標を設定している。実際に皆様が日頃暮らしている中で、都市再生整備計画としては、駅前の土地区画整理事業、国領川の整備、地域コミュニティセンターの3つの主な事業が関わりが深いですが、ご意見・ご感想を頂きたい。

委員：実際に住んでいると、定住人口はぐっと減ったように感じる。整備前には1,200人程であったが、現在では700人程である。理由の1つは区画整理であり、道路、公園の用地確保等のため、地区外へ出た方が事業前に沢山いらっしやった。現在仮住まいの方が戻ってこられれば人口は増えると思われるが、全体的には

減っている。また事業の性質上、仕方ない面もあるが、交流人口が△になっているのは、調査時期が問題ではないかと思う。効果がすぐに発現されるような事業であれば、満足度は上がるかもしれないが、区画整理では仮住まいの方が簡単に戻れない場合もある。さらに駅前広場がイベント会場や憩いの広場になるはずが、まだ十分整備されていない。またそれに伴う南北自由通路の整備によっては、広場が工事現場になる訳なので、イベント等ができない状況が続く。そのように駐車場、駐輪場、自由通路などがきれいに整備され、イベント会場となれば交流人口が増えていくのではないか。今の時点で評価が△というのは、お金を掛けたのに効果が薄い、上手くいっていない印象があり問題である。ただ、住んでいる者にとっては、住環境は格段に良くなったため満足はしている。

委員：交流センターには2日に1回は行っている。私は庄内自治会長をしているが、自治会には平成21年12月時点で2,880世帯が居住している。事業開始当時は道路などが悪い評価だったが、最近は評判が良い。今のお話のように、評価を行わなければならないが、市の産業経済の活性化に繋げるには時間がかかる。道路整備は非常に重要なポイントであり、市の活性化には欠かせない。確かに評価的には△であるが、時期的なものである。以前の新居浜駅は車が停められず、交流センターも駐車場がいっぱいであった。整備事業は、市長からの長期総合計画にも関連するが、市の将来にとってすばらしい事業であり、私共地域の代表から見れば評価でき、もう少し時間が必要である。

委員：国領川の河川敷を対象とするソフトボール協会に関わっている。初年度に排水工事をして頂き、ソフトボールの会場として県からも開催要望が出ている。中学の総体、高校、シニアなど、特に四国の大会でここ2~3年は使われている。2~11月の日曜のうち、使われない日は小学校の運動会、お盆、市内の運動会の4日間くらいで、土曜日でも3分の2が埋まっている。ただ、問題は女子の大会でトイレの数が不足することである。現在は間隔が300m程のため混雑するので簡易トイレの設置が必要である。また、台風時の河川の増水の問題があり、9~10月は予定を組みづらく、河床を深くして対応してもらいたい。

委員：駅前の住民として、区画整理でまちが美しく便利になったが、駅正面など区画整理区域内に若干空地がある。個人所有のものだと思うが、将来的な空地の利用計画はどうなっているのか。次に、区画整理のお陰で公園が4ヶ所できたが、駅前住民以外も使っており、ゴミ、落書き、水道破損などマナーの問題がある。ゴミ箱は置いていないが、1ヶ所だけでも試験的に置いて、何ヶ月か実験してはどうか。また、小さくても看板を置き注意喚起を行うことも必要ではないか。国領川河川敷は、普段は良いが大会時等はベンチの数が足りない。もう少し数を増やしてはどうか。

委員長：全体的に良い評価と思われる。交流人口はどんどん減ると問題だが、あまり減らなければ問題ないのではないか。地方都市は人口が減っている中、さらに交流人口は人がやって来ることであり、やって来るには時間が必要だが、人間の使える時間は1日24時間しかない。これで交流人口が増えるということはある得ない。人口が減っている中で交流人口も減っていくのが普通である。目標が高かったかもしれず、あまり気にする必要はないと思われる。住民満足度は目標値の60%は高すぎるのではないか。このようなアンケートでは、30~40%の人が「普通」と答えがちである。「普通」が30%だと残りは70%となり、その中で60%は驚異的な数字である。従前値の12%は気になるが。そのような中で満足度40%を得ており、この数値自体で悲観する必要はない。ご指摘のように、社会基盤の基礎となる整備であるので、効果発現には時間がかかる。空地については、住んでいる人からすれば長い目で考えており、区画整理特有の課題である。地権者の土地活用の立場から見れば、一度に埋まらないのはある意味仕方がない。気長に効果発現を待っていれば良いのではないか。なかなか効果がすぐに出ない訳だが、市民の長年の夢の事業であり、子孫のために良い財産になったのではないかと思う。皆様から指摘された問題は、国領川ではイベント時のトイレやベンチの不足である。また、公園ではゴミ等のマナーの悪さである。これは望まれない副産物のようなもので、時間をかけて市民のマナーの向上を進めてもらえれば有り難い。全般的なご意見は、駅前の環境や利便性が良くなったということであり、ずっと効果を見守っていくことが必要である。皆様より色々なご意見を頂いたが、今回の都市再生整備計画の事業の事後評価について妥当に進められたと評価してよろしいか。

委員：異議なし。

(2) 今後のまちづくり方策にかかる審議について

(事務局より今後のまちづくり方策について説明)

委員長：2期都市再生整備計画を更に発展させるアイデアを頂きたい。

委員：今後の計画について、駅前広場等整備検討委員会は2回行っており、結果を反映させて頂いた。新居浜駅前には先程から言われるように住民と行政が一体となったにぎわいあるまちづくりが当初からの目標であり、これをどう進めるかが課題である。平成23年度に整備が終わり、これから2~3年かけて残りの施設も終わる。あとはソフトの問題である。このような良い環境を十分に活用して、新居浜の玄関として賑わいのある活気あふれたまちづくりをどうつくるかが問題となる。例えば人の広場で6月のイベントでは、雨天でも1万人程度集まった。その結果を実行委員会で検討し、このようなイベントは駅前で開催する方が、環境が良く、バスやJR、自転車等で利用しやすいと考えている。こうした

イベントで駅前が賑やかになるのは大事なことである。11月20日に2回目のイベントを開催するが、イベント実施の定着が必要であり、市としても立ち上げ段階で良いので支援して頂きたい。

委員：そのイベントに参加したが、我々から見れば盛況だったが、出店した側の評価は聞いていない。おそらく良かったとは思いますが意見を報告頂き、結果がプラスならば年に何回かイベントができると良い。地域としても市に応援して頂きたい。ただきれいなだけで終わっては意味が無く、ずっと人が集まるまちになってもらいたい。

委員：人に来て頂くことが必要だが、宿泊の面で弱い。大会で県外から来た方に川の江のホテルや東予の国民休暇村に宿泊して頂いた。ただ宿泊施設は欲しいが、その為にはコンスタントに人に入って頂く必要がある。ソフトボール協会としては、年に1~2回は必ず西日本大会以上の大きな大会を行うという考え方を示したい。行政にもそれを実現するために必要なものをお願いしたい。資本ほかに色々な問題があるが、区画整理事業区域内に宿泊施設のひとつがあって良いのではないか。

委員：3年程前に駅前にホテルを誘致する話があった。先日の環境会議の時にも話したが、企業誘致が可能な大型開発できるような用地を考えてほしい。ホテルを造っても人が入らなければどうしようもないのでお願いしたい。総合文化施設のあかがねミュージアムについても市の窓口なので、どう使うか等の細かな情報を随時流して頂けると地域にも説明でき有り難い。先日、「小女郎保存会」の全国大会がこの地域交流センターであった。金子備後守の5代前の本家が埼玉県にあることから入間市と姉妹交流を30年以上続けているが、入間市からの訪問団を東平に案内した際に、なぜ世界遺産となるようなものを置いたままにしているのかと残念がられた。そこは昔、銅の精錬のための亜硫酸ガスなど環境の問題があったが、現在もどこに何があるのかわからない状態である。総合文化施設においては、市外県外からの人に対して、ミュージアムとして何をアピールするのかを検討し、図面として決定する前に市民の意見も聞いて頂きたい。

委員長：ある程度ハード整備はできたが、もっと賑わいの場、顔となる場にしていきたいというご意見である。地域住民、市民、行政みんなで盛り上げていくべきではないか。それを考えた時、総合文化施設は新居浜の中心であり、地元住民の意見も聞いて市としても十分検討して頂きたい。私個人の意見だが、南北自由通路について、駅の建物に直接入れるようになり、規模は小さくても食事ができ、土産を買える所があれば良いと考える。計画は決まっているが、長期の課題としてお願いしたいことである。シンボルロードについては、まだ街路樹が不足している。風格と潤いを感じられるようになってほしい。皆さんのご要望のようにホテルを含め、交流し、賑わいが実際に見られるような事業なりイベ

ントなり、2期事業では賑わい創出に力を入れて頂きたい。そのような意見を踏まえ、市には事業を進めて頂きたい。それ以外のまちづくり方策については、適切に検討されて、妥当と評価して良いか。

委員：異議なし。

委員長：それでは、事務局は本日の評価委員会での委員の皆様のご意見を踏まえ、必要に応じて事後評価シートを修正していただくようお願いしたい。

6. 評価委員会後のスケジュールについて

事務局：貴重なご意見を頂きありがたく思う。賑わいの場、新居浜の顔として、それを市民、行政一体となってまちづくりを進めていきたい。資料7の通り今後のスケジュールについて、本日のご意見を反映させて、来月に事後評価結果を国へ提出することになる。国より助言があれば修正作業を行い、3月に最終結果を報告する。また、事後評価結果については、市のホームページで公表し、フォローアップをして、指標の確定値を測定していく。この資料には載せていないが、平成24年4月からのスタート予定の2期計画についても作業を進めていく。もし、事後評価の修正等があれば、最終的に会を代表して、柏谷委員長に確認を一任させて頂きたいがよろしいか。

委員：異議なし。

7. 閉会

事務局：これを持って閉会としたい。本日は長時間にわたるご審議ありがとうございました。

以上